

奉 祝

浅間神社 正殿遷座祭



新社殿遠景 御殿場市駒門471番地

斎行 平成17年5月21日 午後6時

浅間神社
駒門区
駒門区各施設建設委員会

1 当日早旦仮殿並びに本殿を装飾す

準備指揮 宮司勝又清

(1) 旧殿の装飾 氏子総代

(イ) 向拝の紙垂を付け替へ、向拝左右の柱に真榊を立てる。

(ロ) 予め、総ての戸は開けておく。

(2) 奉遷用具の弁備

(イ) 概ね次の威儀物を整備する。

太刀 2柄 弓 2張 平胡籙 1具 壺胡籙 1具

榊 2竿 楯 2枚

(ロ) 概ね次の奉遷用具を弁備する。

大麻 1枝 塩湯 1口 行障 = 絹垣 一条

紫 翳 2柄 菅 翳 2柄 松明 4本

(松明は神社委員が作成する 柄は 概ね 2m)

(ハ) 覆面、手袋、木綿鬘及び木綿襪等を備へておく。

但し木綿鬘、木綿襪は参進に先立ちこれを著ける。

(ニ) 電灯の設置してある場所は、予め一斉に点滅し得るやう設備しておく。

指揮 住設計

(3) 本殿の設備

(イ) 内陣神座をはじめ、本殿の内外を特に清くしつらえ、例祭に準じて装飾する。

(ロ) 予め神饌、玉串など、神饌所に弁備する。

(4) 遷御御道筋の舗設

(イ) 筵道(薦 = ござ)に布単を重ねて舗き、進御に従って展べ、通御に従ってこれを巻く。

(ロ) 筵道 = 布単の上を歩く者は「御」のみであるので舗く位置は絹垣の前とする。

巻いてある筵道 = 布単を絹垣の直前にて展べはじめ、絹垣の通過直後に巻き

納める。巻き終はった筵道 = 布単は、行進中の絹垣前面に持参、敷いてある

筵道 = 布単の前端に接して展べ始める。

(5) 被所の舗設

(イ) 旧殿大銀杏前に設置

齋竹四本を四角に立て(9尺4方)、注連縄を廻し、紙垂を著ける。被所には

砂を敷く

舗設担当 小野組(砂・竹用杵) 竹縄は氏子総代

(ロ) 案・薦・大麻・塩湯を舗設

舗設担当 神職

(6) 拝殿以下鳥居社務所に至るまで紙垂を著けかえる。 舗設担当 神社委員

2 記念撮影

当日午後5時40分 神職・総代・奉仕者拝殿前に整列

撮影者

3 先ず、手水の儀あり

- (1) 大鳥居前にて、(1)参列者 (2)奉仕者 (3)総代 (4)神職の順に下座の者から
行ふ 手水所役 氏子総代
- (2) 手水を終はった者から順に玉垣下に「図-2」の通り列立する。

4 時刻宮司以下祭員(神職)献幣使総代奉仕者 及び氏子崇敬者祓所に参進

5 次に修祓

祓主 清文 大麻 洋子 塩湯 清慈

6 次に宮司以下祭員(神職)献幣使総代奉仕者 及び氏子崇敬者旧殿に参進

図-1「旧殿列立位置図」の通り

- (1) 神職は弊殿に列立する
- (2) 献幣使、同随員、正副区長、責任役員総代、建設副委員長、翳、太刀、弓、矢、鉾、楯の各所役奉仕者は、拝殿に列立する
前項以外の所役奉仕者(含令人)は旧殿前庭に列立する
- (3) 来賓及び氏子崇敬者(参列者)は旧殿前庭所役奉仕者の後ろに列立する

7 次に宮司一拝

諸員之に倣ふ

(俯角九〇度の最敬礼)

8 次に宮司祝詞を奏す

此の間諸員平伏(俯角六〇度の敬礼)

祝詞後取 憲一

9 次に禰宜威儀物を各所役に渡す

此の時召立の儀あり 召立 清文

執物後取 内海、憲一、淳、渡辺

- (イ) 召立てられたる者は、「オー」と大声で応へ、速かに執物後取の神職にいたり、

ほうじ しな うけと きゅうでんれつりゅういちず いち れつりゅう
奉持の品を受取りて図-1の「旧殿列立位置図」の位置に列立する。

- (ロ) こうじょう=きぬがきしやく う のちいったんへいでんさゆう れつりゅう めしたて おわ のち
行障=絹垣所役は、受けた後一旦弊殿左右に列立し、召立が終わった後に
はいでん へいでん あいだ しんざ せ た きぬがき=こうじょう しんざ かく さき も
拝殿と弊殿の間に神座を背にして立ち、絹垣=行障を神座を隠すやうに捧げ持ち、
宮司及び禰宜が「御」を奉戴し来るまで列立して待つ。

召立文

平成十七^乙酉年五月二十一日

浅間神社 本殿遷座祭

召立之事（めしたてのこと）

前陣

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1 前導 | 細谷 俣久 |
| 2 左松明（ひだりのたいまつ） | 鈴木 政信 |
| 3 右松明（みぎりのたいまつ） | 小沢 滋 |
| 4 大麻（おおぬさ） | 勝又 洋子 |
| 5 塩湯（えんとう） | 勝又 清慈 |
| * 6 左御楯（ひだりのおんたて） | 小沢 仁志 |
| * 7 右御楯（みぎりのおんたて） | 持田 一 |
| * 8 左御杵（ひだりのおんほこ） | 渡辺 兄助 |
| * 9 右御杵（みぎりのおんほこ） | 勝又 敏 |
| * 10 左御胡籙（ひだりのおんやなくい=平胡籙） | 大井 治美 |
| * 11 右御胡籙（みぎりのおんやなくい=壺胡籙） | 土屋 邦夫 |
| * 12 左御弓（ひだりのおんゆみ） | 細谷 道信 |
| * 13 右御弓（みぎりのおんゆみ） | 千葉 愛夫 |
| * 14 左御太刀（ひだりのおんたち） | 細谷 春男 |
| * 15 右御太刀（みぎりのおんたち） | 鈴木 正一 |
| 16 伶人（れいじん） | 土佐谷 惇 |
| 17 伶人（れいじん） | 土佐谷 諭 |
| 18 伶人（れいじん） | 狩野 博男 |
| 19 伶人（れいじん） | 加藤 文俊 |
| 20 伶人（れいじん） | 佐々木 美幸 |
| 21 警蹕（けいひつ） | 田代 隆昭 |
| 22 警蹕（けいひつ） | 内海 守 |
| 23 前行（ぜんぎょう） | 小沢 澗史 |

- * 24 左紫御翳(ひだりのむらさきのおんさしは) 滝 口 秀 彦
- * 25 右紫御翳(みぎりのむらさきのおんさしは) 小 沢 利 長
- 26 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 杉 山 年 久
- 27 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 鈴 木 肇
- 28 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 鈴 木 知佳男
- 29 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 持 田 五 男
- 30 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 堀 江 邦芳
- 31 行障 = 絹垣(こうじょう) 興 津 史 彦
- 32 行障 = 絹垣(こうじょう) 野 村 芳 照
- 33 絹 垣(きぬがき) 勝 又 憲 一
- 34 絹 垣(きぬがき) 清 水 大 輔
- 35 絹 垣(きぬがき) 勝 又 淳
- 36 絹 垣(きぬがき) 渡 辺 裕
- 37 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 土 屋 恵 司
- 38 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 鈴 木 貢
- 39 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 持 田 三千男
- 40 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 吉 田 充
- 41 筵道 = 布単(えんどう = ふたん) 渡 辺 良 隆

後 陣

- * 42 左菅御翳(ひだりのすげのおんさしは) 小 沢 保 男
- * 43 右菅御翳(みぎりのすげのおんさしは) 勝 又 正 文
- 44 左松明(ひだりのたいまつ) 小 沢 茂
- 45 右松明(みぎりのたいまつ) 鈴 木 房 男
- 46 後 衛(ごえい) 鈴 木 良 則

にゆうぎよ さい こめじるし めした ばあいとりのもの な よ しめい
 入 御の際には* 印のもののみを召立てる。この場合執物の名のみを読み、氏名を
 略する。

くぶいん ほうししゃ ふくそう そうだい けんせつじょうにんいんそうとう やくいん かみしち
 供奉員(奉仕者)の服装は、総代及び建設常任委員相当の役員にありては 袷 とする。

うちぎ はくい
 袷の衣着は、白衣とする。(建設委員会にて借用、草履、足袋は支給)

たいまつ い か しよやくほうししゃ はくちよう
 松明以下その他の所役奉仕者は、白丁とする。(建設委員会にて借用)

ただ はくちよう うちぎ こじん じゅんび
 但し白丁の衣着は、個人にて準備する。衣着は白のシャツ、ズボン、(草履、足袋
 は支給)を用ゐる。

10 次に宮司及び禰宜旧殿神座に参入す

11 次に遷御 此の間奏楽警蹕 諸員平伏

- (イ) 典儀笏拍子を打ちて、消灯を合図し、伶人楽をはじめ、警蹕所役は警蹕を行ひ、奉拝諸員は俯角六十度の敬礼をする。
- (ロ) 宮司及び禰宜は(覆面、手袋を著ける)神座より「御」を奉戴して弊殿中央にいたる。
- (ハ) 絹垣所役は「御」を奉戴した宮司及び禰宜を絹垣で蔽ふ。
- (ニ) 陰燈所役は、宮司の足元を照らす。 陰燈所役 警蹕所役兼務
- (ホ) 行障=絹垣所役は「御」の前に出でて、前面を蔽ふ。
- (ヘ) 此の間警蹕所役は、間断なく警蹕を懸ける。
- (ト) 諸員は「仮殿列立位置図」(図-1)の位置にて立ち、俯角六〇度の敬礼を行ふ。
- (チ) 消灯係は、笏拍子が鳴りたる時消灯す。

消灯係 仮殿 小野組 本殿及び境内 白幸産業 社務所 住設計

- (リ) 行障、絹垣が「御」を蔽った後、速かに図-2「遷御の列次」の順に旧殿を出でて、水路下参道に新殿を向いて整列、列次を整へてから進む。
- (ヌ) 列次中、左右に相對しないものは、左方に就いて進行する。
- (ル) 大麻塩湯及び警蹕所役は「御」の前を進み、旧殿を出でたる後は参進列次中の正位置に加はる。
- (ヲ) 警蹕所役は出御、入御の際及び御道筋の曲がり角等、交互に間断なく、警蹕を懸け、大麻所役は袂を修する。
- (リ) 進御通路は、旧殿を出で階段を降りた後右折、ここで列次を整へてから、西側の道路を西進、ガードをくぐって新境内に入り、参道を進み、大鳥居前を右折、階段を上り、新殿前庭に参入、そのまま北進して本殿に至る。

12 次に入御 此の間奏楽警蹕 諸員平伏

予め禰宜本殿の御扉を開き、また神饌・玉串等の袂を修す

- (イ) 行障=絹垣所役は、大床階下前にて左右に分れ所定の位置にて列立す。
- (ロ) 絹垣所役は、宮司および禰宜が「御」を内陣に奉安し畢るまで絹垣にて蔽ふ。畢りたる後は、絹垣を巻き向かって左側の適宜の位置に立てかけ、召立が終るまで所定の位置に列立する。
- (ハ) 警蹕所役は、拝殿向拝からは奉安し畢るまで、間断なく警蹕を懸ける。
- (ニ) 点灯係は笏拍子が鳴りたる時、点灯する。

きゅうでん ぎょ しんぱつごしばら しやくびょうし ま てんとう かり きゅうでん とじ
旧 殿は、「御」進発後暫くして笏拍子を俟たず点灯、係は旧 殿の戸締ま
をして行列最後尾につく。

しゃむしょ ぎょ ほんでん い しやくびょうし ま てんとう
社務所は「御」の本殿に入りたるを視認の後、笏拍子を俟たず点灯する。

ほんでん けいひつ や のちしやくびょうし あ てんとう ぜんていがいとう
本殿は、警蹕の已んだ後笏拍子に合わせ、点灯する。前庭街灯も同じ

点灯係 仮殿 小野組 本殿及び境内 白幸産業 社務所 住設計

(ホ) かくしやくおよ さんれつじん はいでん はい しい しだい しんでんにゆうじょうれつりゅういちず とお
各所役及び参列員は、拝殿に入り次第、図-3の「新殿入場列立位置図」の通
り列立し、神座に「御」を奉安し畢るまで（警蹕の懸かっている間）俯角六〇
度の敬礼を行ふ。

(ハ) かげとうしやく ないじん あしもと て ほうあんおわ のちないじんまえ あん
陰燈所役は内陣まで宮司および禰宜の足元を照らす。奉安畢った後内陣前に案
薦を舗設する。

13 次に禰宜威儀物を各所役より受く

こ ときめしたて ぎ
此の時召立の儀あり

(イ) ゆみ た ち ほうじ しょやく めした とくすみや すす とりものしょやく
弓、太刀など奉持の所役は、召立てられたる時速かに進みいで、執物所役の
神職に渡し、図-3「新殿入場列立位置図」の通り列立する。

(ロ) とりものしょやく しょてい い ち ほうあん
執物所役は所定の位置に奉安する。

(ハ) ほうじ しょやく めしたて お のち すみ こしょう しんじょういす はいでん
奉持の所役は、「召立」が終はりたる後、速やかに胡床（神事用椅子）を拝殿
に並べ、参列者の著床を促す。

14 次に禰宜以下祭員献幣使総代奉仕者及び参列者所定の座に著く

図-4「新殿座席図」の通り

15 次に禰宜以下祭員神饌を供す 此の間奏楽

陪膳 清文 膳部 洋子 一の手長 清慈 二の手長 田代 三の手長 興津 四の手長 内海

16 次に宮司祝詞を奏す 此の間諸員平伏

祝詞後取 憲一 軾後取 淳（祝詞奏上後軾を徹す）

17 次に禰宜本廳幣を献す

禰宜 清文 献幣使随員（禰宜は本廳幣を献じた後宮司玉串案を舗設する）

18 次に献幣使祭詞を奏す 此の間諸員平伏

献幣使 祝詞後取 随員 軾後取 淳（献幣使玉串拜礼後軾を徹す）

19 次に楽を奏す（浦安の舞）東脇則枝 於向拝

20 次に宮司玉串を奉りて拝礼

禰宜以下祭員（神職）列拝

玉串後取 野村

21 次に献幣使玉串を奉りて拝礼

玉串後取 随員

22 次に総代以下参列員玉串を奉りて拝礼

玉串後取 憲一 清水 案後取 淳 薦後取 渡辺 淳 渡辺

23 次に禰宜本廳幣を撤す

24 次に禰宜以下祭員神饌を徹す

此の間奏楽 陪膳 膳部 手長 同献饌と同じ

25 次に宮司御扉を閉畢りて所定の座に著く

此の間奏楽警蹕 諸員平伏

26 次に宮司一拝 諸員之に倣ふ

27 次に宮司挨拶（神職役員総代奉仕者退下）

報鼓 莊吾

28 一般参列者玉串拝礼

玉串後取 野村 憲一 淳 渡辺 案薦後取 淳 渡辺

案の位置は弊殿前とする。

29 直会 行酒 洋子 清慈 内海 清水 東脇 （向拝階段下）

奉仕神職所役

宮 司	勝 又 清				
		「御」奉戴	祝詞		
禰 宜 待 遇	勝 又 清 文	愛知県一宮市	「真清田神社」	権禰宜	
		「御」奉戴	召立 祓主 陪膳 献幣		
権禰宜待遇	勝 又 洋 子	清水町八幡	「八幡神社」	権禰宜	
		大麻 膳部	行酒		
権禰宜待遇	勝 又 清 慈	清水町八幡	「八幡神社」	権禰宜	
		塩湯	1の手長		
助勤神職	田 代 隆 昭	御殿場市北久原	「浅間神社」	宮 司	
		警蹕 蔭灯	2の手長		
助勤神職	興 津 史 彦	沼津市青野	「桃澤神社」	宮 司	
		行障 = 絹垣	3の手長		
助勤神職	内 海 守	沼津市平町	「日枝神社」	禰 宜	
		警蹕 蔭灯 執物後取	4の手長 行酒		
助勤神職	勝 又 莊 吾	御殿場市大坂	「浅間神社」	宮 司	
		遷御監理	報鼓		
助勤神職	野 村 芳 照	沼津市西浦	「大瀬神社」	宮 司	
		行障 = 絹垣	宮司玉串 一般玉串		
助勤神職	勝 又 憲 一	御殿場市中清水	「山 神社」	宮 司	
		祝詞 執物 絹垣	参列玉串 一般玉串		
助勤神職	清 水 大 輔	沼津市浅間町	「丸子浅間神社」	権禰宜	
		典儀 絹垣	参列玉串 行酒		
助勤神職	勝 又 淳	裾野市伊豆島田	「見目神社」	権禰宜	
		執物 絹垣 軾	参列玉串案 一般玉串案共		
助勤神職	渡 辺 裕	御殿場市印野	「浅間神社」	禰 宜	
		執物 絹垣	参列玉串薦 一般玉串薦共		
伶 人	土佐谷 惇	沼津市江浦	「住吉神社」	宮 司	
伶 人	土佐谷 諭	沼津市御幸町	「八幡神社」	禰 宜	
伶 人	狩 野 博 男	伊豆の国市大仁	「大仁神社」	禰 宜	
伶 人	加 藤 文 俊	富士宮市	「大仁雅楽会」		
伶 人	佐々木 美 冬	伊豆市	「大仁雅楽会」		
舞 姫	東 脇 則 枝	清水町八幡	「八幡神社」		

平成十七乙 酉年五月二十一日

浅間神社 本殿遷座祭

召立之事(めしたてのこと)

前陣

- 1 前導 細谷 俣久
- 2 左松明(ひだりのたいまつ) 鈴木 政信
- 3 右松明(みぎりのたいまつ) 小沢 滋
- 4 大麻(おおぬさ) 勝又 洋子
- 5 塩湯(えんとう) 勝又 清慈
- * 6 左御楯(ひだりのおんたて) 小沢 仁志
- * 7 右御楯(みぎりのおんたて) 持田 一
- * 8 左御杵(ひだりのおんほこ) 渡辺 兄助
- * 9 右御杵(みぎりのおんほこ) 勝又 敏
- * 10 左御胡籙(ひだりのおんやない)平胡籙 大井 治美
- * 11 右御胡籙(みぎのおんやない)壺胡籙 土屋 邦夫
- * 12 左御弓(ひだりのおんゆみ) 細谷 道信
- * 13 右御弓(みぎりのおんゆみ) 千葉 愛夫
- * 14 左御太刀(ひだりのおんたち) 細谷 春男
- * 15 右御太刀(みぎりのおんたち) 鈴木 正一

- 16 伶 人(れいじん) 土佐谷 惇
- 17 伶 人(れいじん) 土佐谷 諭
- 18 伶 人(れいじん) 狩野 博男
- 19 伶 人(れいじん) 加藤 文俊
- 20 伶 人(れいじん) 佐々木 美幸
- 21 警 蹕(けいひつ) 田代 隆昭
- 22 警 蹕(けいひつ) 内海 守
- 23 前 行(ぜんぎょう) 小沢 静史
- * 24 左紫御翳(ひだりのおんさしほ) 滝口 秀彦
- * 25 右紫御翳(みぎのおんさしほ) 小沢 利長
- 26 筵道(えんどう) 杉山 年久
- 27 筵道(えんどう) 鈴木 肇
- 28 筵道(えんどう) 鈴木 知佳男
- 29 筵道(えんどう) 持田 五男
- 30 筵道(えんどう) 堀江 邦芳
- 31 行障(こうじょう) 興津 史彦
- 32 行障(こうじょう) 野村 芳照
- 33 絹垣(きぬがき) 勝又 憲一
- 34 絹垣(きぬがき) 清水 大輔
- 35 絹垣(きぬがき) 勝又 淳

36	絹 垣(きぬがき)	渡 辺 裕
37	筵道 布单(えんどう ふたん)	土 屋 恵 司
38	筵道 布单(えんどう ふたん)	鈴 木 貢
39	筵道 布单(えんどう ふたん)	持 田 三 千 男
40	筵道 布单(えんどう ふたん)	吉 田 充
41	筵道 布单(えんどう ふたん)	渡 辺 良 隆
後 陣		
* 42	左菅御翳(ひだりすげのおんさしほ)	小 沢 保 男
* 43	右菅御翳(みぎすげのおんさしほ)	勝 又 正 文
44	左松明(ひだりのたいまつ)	小 沢 滋
45	右松明(みぎりのたいまつ)	鈴 木 房 男
46	後 衛(ごえい)	鈴 木 良 則

浅間神社 本殿遷座祭所役表

平成17年4月22日

斎行日 平成17年5月21日

遷御監理 勝又莊吾

番	所役名	奉仕者	摘要・説明	装束・服装
	前陣			
1	前導	細谷 俣久	区長	袴
2	左松明	鈴木 政信	建設委員相当	白丁
3	右松明	小澤 滋	建設委員相当	白丁
4	大麻	勝又 洋子	権禰宜待遇(八幡神社権禰宜)	正服(唐衣)
5	塩湯	勝又 清慈	権禰宜待遇(八幡神社権禰宜)	正服(緑袍)
6	左御楯	小沢 仁志	常任委員相当	袴
7	右御楯	持田 一	常任委員相当	袴
8	左御杵	渡辺 兄助	常任委員相当	袴
9	右御杵	勝又 敏	常任委員相当	袴
・	左御胡・(平胡・)	大井 治美	常任委員相当	袴
・	右御胡・(壺胡・)	土屋 邦夫	常任委員相当	袴
・	左御弓	細谷 道信	常任委員相当	袴
・	右御弓	千葉 愛夫	常任委員相当	袴
・	左御太刀	細谷 春男	常任委員相当	袴
・	右御太刀	鈴木 正一	常任委員相当	袴
・	伶俐人	土佐 谷 惇	住吉神社宮司	浄衣
・	伶俐人	土佐 谷 諭	沼津八幡神社禰宜	浄衣
・	伶俐人	狩野 博男	伊豆の国市大仁神社禰宜	浄衣
・	伶俐人	加藤 文俊	大仁雅楽会	浄衣
・	伶俐人	佐々木 美幸	大仁雅楽会	浄衣
・	遷御監理	勝又 莊吾	大坂浅間神社宮司	正服(赤袍) 但し浄衣着用
・	警蹕	田代 隆昭	北久原浅間神社宮司	正服(赤袍)
・	警蹕	興津 史彦	桃澤神社宮司	正服(赤袍)
・	前行	小沢 澁	副区長	袴
・	左紫御翳	滝口 秀彦	常任委員相当	袴
・	右紫御翳	小沢 利長	常任委員相当	袴
・	筵道=布单	杉山 年久	建設委員相当	白丁
・	筵道=布单	鈴木 肇	建設委員相当	白丁
・	筵道=布单	鈴木 知佳雄	建設委員相当	白丁
・	筵道=布单	持田 五男	建設委員相当	白丁

・	えんどう=ふたん 筵道=布单	堀江邦芳	建設委員相当	白丁
・	こうじょう=きぬがき 行障=絹垣	内海守	沼津日枝神社禰宜	正服(赤袍)
・	こうじょう=きぬがき 行障=絹垣	野村芳照	沼津大瀬神社宮司	正服(赤袍)
・	きぬがき 絹垣	勝又憲一	中清水山神社宮司	正服(緑袍)
・	きぬがき 絹垣	清水大輔	沼津丸子浅間神社禰宜	正服(緑袍)
・	きぬがき 絹垣	勝又淳	裾野見目神社禰宜	正服(緑袍)
・	きぬがき 絹垣	渡辺裕	印野浅間神社禰宜	正服(緑袍)
	ぎよ 御	勝又清	宮司	正服(赤袍)
	ぎよ 御	勝又清文	禰宜待遇(真清田神社権禰宜)	正服(緑袍)
・	えんどう=ふたん 筵道=布单	土屋恵司	建設委員相当	白丁
・	えんどう=ふたん 筵道=布单	鈴木貢	建設委員相当	白丁
・	えんどう=ふたん 筵道=布单	持田三千男	建設委員相当	白丁
・	えんどう=ふたん 筵道=布单	吉田充	建設委員相当	白丁
・	えんどう=ふたん 筵道=布单	渡辺良隆	建設委員相当	白丁
	こじん 後陣		建設委員相当	白丁
・	ひだりのすげのおんさしは 左菅御翳	小沢保男	常任委員相当	袴
・	みぎりのすげのおんさしは 右菅御翳	勝又正文	常任委員相当	袴
・	献幣使先導	渡辺正久	総代	袴
・	献幣使	桜井豊彦	静岡県神社庁副庁長	正服(赤袍)
・	献幣使随員	亀山幸志	静岡県神社庁録事	正服(緑袍)
・	総代会長・建設委員長	宇佐美昭雄		袴
・	責任役員・総代	細谷雄三		袴
・		斎藤達明		袴
・	建設副委員長	斎藤嘉春		袴
・		勝又初郎		袴
	来賓	矢田部正巳(代鳥居靖)	静岡県神社庁長等	礼服(略正装可)
	来賓	田代隆昭(代池田行雄)	静岡県神社庁駿東支部長	礼服(略正装可)
	来賓	富士岡地区神社総代会長、駒門駐屯地司令、市議会議員(3名)、日本道路公団、協力業者、駒門工専、周辺地主、富士岡区長会長、JA富士岡支店長		礼服(略正装可)
	建設委員会役員 区元老 区役員 区民	細谷喜勝、勝又常雄、鈴木鋭次、斉藤晋、渡辺叶、勝又進、小沢朱美、小沢喜美子、勝又・、小沢勝彦、鈴木芳江、持田きぬ枝、渡辺勲子、三枝吉治 勝又・、鈴木一馬、細谷旭、持田六美、杉山賢吾、持田昭一、斉藤幸一、斉藤秀治、持田晃寿、小沢勲、ほか区民		
・	ひだりのたいまつ 左松明	小沢滋	建設委員相当	白丁
・	みぎりのたいまつ 右松明	鈴木房男	建設委員相当	白丁
・	ごえい 後衛	鈴木良則	副区長	袴

	行列外所役			
	舞 姫	東 脇 則 枝	宮司本務社舞姫	舞装束
	篝 火	小沢一宗、勝又共生 田中達夫、宮沢信哉	建設委員相当 4ヶ所4人	白丁
	行列部 総合進行部長 進行管理 交通整理 駐車場係	勝 又 莊 吾 勝 又 初 郎 鈴木政信、渡辺正久 鈴木富士男、三枝辰雄 斉藤衛一 小沢泉、鈴木博泰、小沢幸 子、渡辺正登、小島正浩 渡辺久司、禮田康成 勝 又 賢 一 渡辺晃、鈴木俊光、持田幸雄 土屋佳明、鈴木臣、室伏太一 小沢保喬、鈴木淳一	遷御監理 部長 常任委員相当 部員 建設委員相当 行列進行管理 5人 交通整理 5人 駐車場係 5人 介添 高田装束店	袴 袴 白丁 白丁 白丁 白丁 白丁 制服 (消防団員は制服)
	受付接待部	斉 藤 嘉 春 鈴木末広、杉山駒男 小沢尚市、渡辺積子 細谷昌史、小沢園美 斉藤真弓	受付案内部長 常任委員相当 部員 建設委員相当 5人	袴 白丁 白丁 白丁 白丁
	直会部	渡 辺 武 渡 辺 ち 糸 子 小沢紀子、勝又とき子、禮田好子、鈴木里子、角田サヨ子、 勝又栄子、井原多恵、斉藤久子、斉藤はつ江、土屋靖恵、千葉担子 持田進、持田陽一	部長 常任委員相当 部員 女性部	袴 白丁 女子部員常装
	総務記録部	勝 又 洋 持田高、渡辺省太郎、細谷明 杉山智美、小賀野弘之、持田 幸雄、持田尚子、 田中寛 文化財調査保存ネットワーク	部長 常任委員相当 部員 適宜 宮司専属撮影者 ビデオ撮影者(4人)	袴 白丁(撮影者) 白丁(撮影者) 白丁(撮影者) 白上張 白上張



新社殿内部



旧社殿 御殿場市駒門453番地

ホームページは <http://www.inarijinia.com> (稲荷神社) の中にあります。移転関係諸祭ほか神社のことが沢山載っておりますのでどうぞご覧下さい

編集・印刷・製本

宮司 勝 又 清

411-0943 駿東郡長泉町下土狩 663
055-986-2459